

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 西川豊長  
幹事 中山信夫  
会報委員長 西尾正巳

No. 29

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第700回 平成9年2月4日(火)

節分会 (醫王寺にて18時より)

先週の記録

第699回 平成9年1月28日(火) 晴

◇ "奉仕の理想"

◇ お誕生日祝福

在田君(2/4)、鷲谷君(2/5)、西川君(2/12)、  
釜谷君(2/15)、足立君(2/16)、堀江君(2/16)

◇ 出席報告

会員 69名 出席 51名  
出席率 73.91%  
前々回 1月14日 (修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介

名古屋東山RC 古谷 翹会長  
" 武儀山勝彦ロータリー情報(長)  
他2名

◇ ゲスト紹介

千種消防署 小川 誠 署長  
" 鈴木 輝夫 整備担当主任  
" 波多野義信 上野主張所主任

◇ ニコボックス

紙面の都合により次回掲載させていただきます。

◇ 中山幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会は、節分会で午後6時より醫王寺にて開催いたしますので、昼間の例会はございません。
3. 皆様のご協力で名城RACにプライベートカード1150枚お渡しすることができましたのでお知らせ致します。

◇ 名古屋東山RCより認証状伝達式のPR

和合RCの25周年を記念して誕生した当クラブは現在47名で、40代が70%と若いクラブです。

例会場はお隣のルブラ山王ですので、ぜひ一度お越し下さい。来る3/25に認証状伝達式をナゴヤキャッスルにて行います。至らない点は多々あると思いますが、若さと活力で精一杯お迎えするつもりですので、多数のご参加をよろしくお願い致します。

◇ 名古屋市千種消防署 優良職員表彰



賞状及び記念品贈呈

- ・鈴木 輝夫 整備担当主任
- ・波多野義信 上野主張所主任

◇ 西川会長挨拶

皆さん今日は、早いもので、1月もあと3日。まもなく節分、立春になります。日脚もいつのまにか伸びて参りました。元旦よりもう30分も長くなったといえます。しかし、恐ろしいインフルエンザもこれからピークが来るといわれていますので、くれぐれもお気を付け下さいますように。

さて、今日は東山RCの古谷会長さんと武儀山ロータリー情報委員長さんがおいでになって、認証状伝達式のご案内がございました。私も感激の認証状伝達式(チャーターナイト)をつい昨日のように思い出します。心から祝福申し上げます。

また、先程は千種消防署の2名の方の優良職員表彰を行わせて頂き、後に、小川千種消防署長さんにご講演頂きますが、消防に、救急に、さらに何時発生するか予測を許さない

大震災に備えて、日々まことにご苦労様に存じます。日頃のご苦労に対し、深甚な謝意を表すると共に、今後ますます市民の安全のため職務に精励下さいますようご期待申し上げる次第でございます。

ところで、よく長生きの秘訣として、「転ぶな。カゼひくな。義理を欠け。」といひます。いかにも消極的で、ひとり、じっとして動かないのが一番ということになりそうな気がします。これと正反対に、アメリカでは、大変積極的でありまして、「さっそうと老いよう。」という合言葉を掲げるキャンペーンがあります。そのリーダーが掲げた三原則というのが、「招待は決して断わってはいけぬ。人をどんどん招け。なにがなんでも恋をせよ。恋をせよ。」というのであります。

つまり、引込んでいてはいけぬ。活動的であるということと精神的老化をさげようというのがアメリカ流であります。年をとっても老い込まないためには、人とつきあうよう努めることが必要ではないでしょうか。

孤独のうちに老いてゆくのは、あわれであります。仲間とともに過ごす時間がいかに楽しいものか。それによっていかに心身をリフレッシュするものか。ということ、いち早く気付いたのは、イギリス人で、イギリス独特の「クラブ」が生まれたのだといひます。

古くは18世紀のころ、コーヒーハウスにたむろしていたのが発展し、高級化して、自前のクラブハウスを持つようになり、食事や宿泊もできるようなものもできたそうであります。幸いにも、私どもはロータリークラブに所属する関係から、努めて参加するよう心掛け、ロータリアンらしい楽しく豊かな話題を持つように努め、真の意味の社交の楽しさを味わいたいと思ひます。

#### ◇講演

“心の傷も消せるように”  
名古屋市千種消防署 署長  
小川 誠氏



平成7年1月17日 午前5時46分 未曾有の大惨事は淡路を震源として神戸をはじめ阪神を激震が襲い、多くの尊い命を奪うとともに3百万人も運命をかえた。

当時、当直であつた消防隊員は、災害発生と同時に家族の安否を気にかけることすら許されない状況で火災防衛に、救助に奔走し疲れ果て気がつくと日が1月18日へと変わっていた。

幸いにも家族と一緒にあつた職員は、家屋が倒壊、家具が、什器が散乱する中、家族の安否を確認するや否やそれぞれ家を飛び出した。非常召集を聞くまでもなく！ 職場へ駆けつける途上での惨状は目を覆うばかりのすさ

まじさで、あまりのショックで我にかえることさえできず、いたるところに呆然と立ちつくす市民ばかり目に飛び込んでくる。燃え盛る紅蓮の炎がショックと恐怖におびえている市民に追い打ちをかけるようになめ尽くしている！

しかし、その場には日頃頼もしくもあつた消防隊員の姿は見あたらない。それは余りにも同時多発的に発生した災害要請に対して、大隊としての、中隊としての、小隊としての機能ができず、隊員一人ひとりが身にかかる火の粉を払うごとく能力と体力の限界を越えて対応せざるをえない状況であつた。

こんなときになぜ市民に適切な愛の手をさしのべることができないのか。

消防とはこんなにも力がなかつたのか。

いままで何をやってきたのだろうか。

つぎからつぎへと無力な消防のことばかりが脳裏をめぐり、とめどもなく頬をつたう涙をぬぐいさることができず、それぞれ職場へ急行した。……

これは、私の知人である神戸の消防署長にいただいた手紙の一部です。

神戸といひますと、ハーバーランド、メリケン波止場、異人館等々異国情緒漂うお洒落な街を想ひ浮かべます。このすばらしい神戸が一瞬にして、悲惨な姿へと変わりました。

「がんばろう神戸」を合言葉に、復興も進んでいますが、神戸の人々の心の傷はなかなかぬぐい去ることは難しいと思ひます。

消防は、あらゆる災害から生命、財産を守るため職務に取り組んでいます。

市民の皆さんが災害に遭わないように、また、万一のときには、“心の傷も消せるように”を、合い言葉に災害対応を進めています。

ロータリークラブの会員の皆さまにおかれましても、私どもの仕事と相通じます“奉仕の精神”で、益々ご発展されますことを祈念申し上げまして、消防職員を受賞に際しまして御礼のごあいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

#### ◇例会変更のお知らせ

名古屋東南RC 2/20(木)I.M.ホストの為、ナゴヤキャッスルにて16時より  
名古屋瑞穂RC 2/20(木)一泊例会の為、2/15(土)豊橋シーパレスにて  
名古屋北RC 2/21(金)第3回I.D.M.の為、か茂免にて17時半より  
名古屋名南RC 2/25(火)I.M.全員登録の為、2/20(木)にて  
豊山-城北RC 2/25(火)夜間例会の為、栄東急インにて18時半より  
名古屋南RC 2/26(水)例会場の変更の為、熱田神宮会館にて

#### ◇次回例会(2月18日)

委員会報告 鷲谷国際奉仕委員長